

令和4年3月定例教育委員会 会議録

- | | | | | | |
|---|------|---|--|--|---|
| 1 | 日 時 | 令和4年3月29日(火) | 開 会 | 午前 | 9時30分 |
| | | | 閉 会 | 午前 | 11時00分 |
| 2 | 会 場 | 茅野市役所 8階大ホール | | | |
| 3 | 出席委員 | 教育長
教育委員
教育委員 | 山田 利幸
永嶋 陽子
若御子雅英 | 同職務代理者
教育委員 | 矢島 喜久雄
勅使川原はすみ |
| | 出席者 | こども部長
こども課長
学校教育課長
文化財課長
こども係長
教育総務係主事 | 有賀 淳一
五味留美子
五味 正
五味 健志
宮下 孝
小池 智也 | 生涯学習部長
幼児教育課長
生涯学習課長
スポーツ健康課長
教育総務係長 | 北沢 政英
柳澤 澄子
田中ひろみ
伊藤 善彦
春日 雅彦 |
| 4 | 傍聴者 | 0名 | | | |

3月定例教育委員会次第

日時 令和4年3月29日（火）午前9時30分から

場所 市役所 8F大ホール

- 1 開 会
- 2 前回会議録の承認
- 3 報告事項
 - 第1号 教育長報告
 - 第2号 各課からの報告
 - (1) 学校教育課
 - (2) こども課
 - (3) 幼児教育課
 - (4) 生涯学習課
 - (5) 公民館
 - (6) 文化財課
 - (7) スポーツ健康課
 - 第3号 教育委員会共催後援
 - (1) 生涯学習課
 - (2) スポーツ健康課
- 4 議 案
 - (1) 茅野市奨学金に支給及び貸与に関する規則の一部改正について
 - (2) 行政財産使用許可について
- 5 検討事項
今回はありません
- 6 その他
 - (1) 市議会3月定例会一般質問について
 - (2) 市議会3月定例会議決結果について
 - (3) 4月1日付教育委員会事務局職員の人事について
 - (4) 茅野市子育て世帯等臨時特例支援事業（子育て世帯への臨時特別給付（支援給付金））支給事業実施要綱について
 - (5) 市民館指定管理者の公募について
 - (6) その他

次回定例教育委員会日程について

	4月26日(火)	9時30分「8F大ホール」
(事務局会議	4月12日(火)	9時00分「602会議室」)

7 閉会

○教育長

3月定例会を始めます。前回の会議録ですが、ご承認いただけますか。

○全委員

異議なし。

○教育長

報告事項に入ります。

1日は、記載の通りです。諏訪美術会の方がお越しになり、コロナのためなかなか展覧会ができず、創作意欲下がってしまうので、機会があれば工夫して積極的に開いていきたいとおっしゃっていました。

2日に議会、4日、7日、8日に一般質問がありました。後ほど報告があります。

11日、臨時園長会と予算決算委員会がありました。臨時園長会は、人事異動の発表です。

16日、17日、卒業式ありがとうございました。米沢小学校のみコロナのため、全員の子どもが出席したいという願いにより、24日に行いました。

18日、県立高校の入試発表がありました。

23日、定期監査報告会と図書館協議会がありました。

24日、「私たちの社会見学」の贈呈がありました。今年で6年目になりますが、毎年いただいています。キャリア教育に大変役立っています。

25日、永明小中建設起工式への出席ありがとうございました。素晴らしい永明小中学校でできればいいと思います。教育の中身になりますが、4月から永明小中学校と米沢小を中心にどのような教育をしていくかという検討委員会、プロジェクトチームを立ち上げて2年間をかけて、考えていきたいと思います。また途中でご意見を伺う会等を計画しています。

同日、小池克典選手の報告会がありました。初めて会いましたが、若くやる気に溢れた好青年でした。また、学校でお話をいただければと思います。

28日、29日は記載のとおりです。

31日、後ほど人事異動の発表ありますが、市の送別式があります。私からは以上です。

報告第2号「各課からの報告」をお願いします。

○学校教育課長

報告第2号の資料をご覧ください。学校教育課4月の行事予定です。

4月1日金曜日、辞令交付式・着任式があります。朝7時40分から市役所701・702会議室で行います。教育委員のご出席をお願いします。

7日木曜日午前中が中学校、午後が小学校の入学式がありますので教育委員のご出席をお願いします。

21日木曜日、市町村教育委員会県施策説明会全体会議が、1時30分から、諏訪教育会館で行われますので教育委員のご出席をお願いします。

26日火曜日9時30分から、定例教育委員会を8階大ホールで行います。以上です。

○こども課長

2ページこども課をお願いします。

5日、やまびこ園始まりの会を実施します。以降は通常通りとなります。

25日、茅野市少年育成委員会の年度初め街頭啓発を予定していましたが、コロナが収まらない状況ですので、中止とします。

○幼児教育課長

3 ページ幼児教育課お願いします。

1 日金曜日、各園で入園式を行います。ご通知させていただいた通り、入園児・保護者・職員のみで、実施させていただきます。

8 日金曜日、ちのせいぼ幼稚園入園式を行います。

22日の金曜日、スタートカリキュラム公開研究会を予定しています。教育長、教育委員のご出席をお願いします。

○生涯学習課長

4 ページ、生涯学習課お願いします。

12日、茅野市転入教職員読書研修会を8階大ホール予定しています。参集人数を絞り、収録によるアーカイブ配信と合わせての実施を考えています。

23日、小泉山春の植物観察会、子ども読書の日特別はなし会をコロナの状況を見ながらの開催になります。

5 ページ家庭教育センターの4月行事はありません。

6 ページ、図書館です。

2日から13日まで、蔵書点検のための特別整理期間として、休館となります。

その他定例のおはなし会が予定されています。こちらもコロナの状況を見ながらの開催になります。

7 ページ、公民館です。

8 日、カリグラフィー講座、3 日、クラフトバンド講座を予定しています。こちらも同じようにコロナの状況を見ながらの開催になります。

○文化財課長

文化財課お願いします。

8 ページ、文化財課尖石縄文考古館ですが、コロナで延期していたちの縄文遺産市民ガイド育成講座の解説実習を2日間行います。

23日から6月5日まで、企画展「永明中学校校庭遺跡速報展」を開催します。

9 ページ、八ヶ岳総合博物館・神長官守矢史料館です。

委員のお手元にチラシを配りしましたが、御柱祭の企画展を総合博物館と史料館の両館で5月29日まで開催をしていきます。特に博物館では、過去の貴重な映像も放映していますので、ぜひご覧ください。

その他、季節に合わせて桜に関する行事をいくつか開催する予定です。

その他にも、市民研究員・子どものクラブ活動等開催していきます。

文化財課は以上です。

○スポーツ健康課

10ページをご覧ください。スポーツ健康課です。

30日土曜日に、第31回市町村対抗駅伝、第17回小学生駅伝が、松本の陸上競技場で予定されています。以上です。

○教育長

質問ありますか。

○全委員
なし。

○教育長
報告第3号「共催後援」お願いします。

○生涯学習課長
報告第3号をご覧ください。

1月28日から3月9日受け付け分として、3件の後援申請がありました。要領に基づき審査し、3件とも承諾決定をしています。

○スポーツ健康課長
2ページ、スポーツ健康課です。2月21日から、3月20日受け付け分です。

1番2番については、市内の保育園、小学校で多くコロナの感染者が出ていて、感染警戒レベルが5ということで、不承諾としました。

3番については、5月になりますので、レベル4では取り消しがありますが、承諾させていただいています。以上です。

○教育長
質問等ありますか。

○全委員
なし。

○教育長
議案第1号「茅野市奨学金の支給及び貸与に関する規則の一部改正について」をお願いします。

○学校教育課長
議案の第1号の資料をご覧ください。奨学金の支給及び貸与に関する規則の一部を改正する規則についてご説明します。

この改正ですが、茅野市奨学金に関する条例の一部を改正したことに伴い、規則の一部を改正するものです。資料として、3枚目に新旧対照表を付けていますので、こちらに基づいてご説明します。

網掛けの部分は今回改正をお願いする部分になります。

第8条、休校等の報告については第3号として「死亡したとき」を加えます。同規則第13条第1項第1号に奨学金の償還完了前に死亡した時と定めているため、死亡について届け出を加えたものです。

第8条第1項の次に、第2項として、「奨学生、保護者または扶養者は、連帯保証人が死亡したとき、または第3条第2項第2号に掲げる条件を満たさなくなったときは、速やかに新たな連帯保証人を定め、文書で市長に届け出をしなければならない。」を加えます。連帯保証人が死亡または条件を満たさなくなった場合の届けを加えたものになります。

次に第11条第1項中の第13条を、第13条第1項及び第3項に改めます。条例の第13条に第1項と第13条が加わったことにより、改める内容となっています。

次に第1条の次に、第12条定住状況等の報告として、「第13条第1項第2号の規定により、奨学金の全部または一部の償還を免除された者は、当該免除の要件に該当する事由が生じた日の翌日から起算して3年を経過する日までの間、毎年4月末までに同月1日現在の状況を定住状況等報告書様式第8号に必要な書類を添えて、市長に報告をしなければならない。」文を加えます。

これは、奨学金の償還を免状されたものに、定住状況等の報告をすることを加えたものになります。

ご説明した第12条を加えることに伴い、条送りとして12条を13条に、第13条は第14条とします。

資料の1ページをご覧ください。下から7行目、様式第1号中の「護者または扶養者」の「保」が抜けていましたので、「保護者または扶養者」に改めます。

また「あて先」のひらがなの「あて」を漢字の「宛先」に改めます。

様式第2号第4号第6号及び第7号についても同じくひらがなの「あて先」を漢字の「宛先」に改める内容です。

様式第5号中、茅野市奨学金の支給及び等に関する第3条の場所に、第3条の前に「規則」を加えるものになります。

様式第7号の次に、様式第8号12条関係として、次のページに様式を載せてありますが、第2条の規定に基づき、定住の状況等を報告する様式としてこちらの様式を加えます。

付則としてこの規則は、令和4年4月1日から施行すること、また、規則の施行前に使われている様式については、当分の間使用できることをこちらでうたっています。

説明以上です。

○教育長

質問、ご意見ありますか。

○全員

なし。

○教育長

議案第2号「行政財産使用許可について」をお願いします。

○幼児教育課長

南新電気工業株式会社から、太陽光発電に係る公共施設の屋根貸し事業に伴う、行政財産の使用許可申請書が提出されました。

使用期間が1ヶ月を超えるため、行政財産使用許可についてお諮りするものです。

対象施設及び面積についてですが、議案第2号(1)については、宮川保育園の屋根上の349.46平方メートル。議案第2号、(2)については、豊平保育園屋根上の258.20平方メートルです。

使用の目的は、茅野市太陽光発電に係る公共施設の屋根貸し事業ためです。

使用期間は令和4年4月1日から令和5年3月31日として、協定で年度ごとに使用許可を受けることになっています。

使用料については、協定書に基づき1平方メートル当たり500円となっています。

この事業は、平成28年度からの継続事業になっています。ご審議をお願いします。

○教育長

ご質問ご意見ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

その他1「市議会3月定例会一般質問について」をお願いします。

○こども部長

3月の定例会市議会の一般質問についてです。

この議会では、5人の議員から6問の一般質問をいただいています。資料の順に答弁の要旨についてご説明します。

1問目、両角実晃議員から「子どもの支援について」、小項目として、2件質問をいただきました。

1件目は「学校における支援員の体制について」で、回答要旨としては、市では、特別支援教育支援員を小学校33名、中学校5名、中学校区4名の合計42名配置。

これまでも、必要に応じて可能な限り配置し、体制を整えてきた。令和4年度も1名の増員を予定。

今後も学校と連携を取りながら、「チーム学校」の一員として、適切な配置と支援に努めていく。と回答させていただきました。

2件目は「夢のあるひと育ち」に向けた取り組みについてということで、回答要旨としては、市では、茅野市こども・家庭応援計画に「ひとそだち」を掲げ、その中で「夢のある子どもの育成」を施策の1つとし、取り組みを進めている。

今、夢を持つことのみに重点を置くだけでなく、様々な体験や経験を積み重ねる中で、自分のやりたいことを見つけていく、その土壌を作ることを大切にしている。

学校では、生きる力を育む学校づくり、縄文市民科、部活動、職場体験、キャリア教育、多様な学びの場の設定もしている。

地域では、育成会活動や地域行事、各種スポーツ団体の活動などを行っている。生涯学習では、文化芸術に触れる取り組みや、公民館や博物館等で各種講座を開催し多様な学びのすそ野を広げている。

また、高校・大学の進学に向けての奨学金制度や貸付制度等について、保護者向けの周知を行っている。

学校教育にとどまらず、多くの場所での様々な体験や経験を通して自己実現が叶うことで、自己肯定感が育まれ、そこで生まれた活力が次につながり、将来の夢に結びついていくものと考えている。これからも、子どもたちが多くの体験や経験ができる環境づくりに努めていく。と回答させていただきました。

続いて伊藤玲子議員から、「子どもの貧困対策の推進について」小項目として、4件の質問をいただきました。

1件目は、「茅野市の貧困と思われる子どもの人数や状況の把握、認識について」で、回答要旨として、市では、令和3年7月に内閣府が策定した「子供の貧困実態調査に関する研究報告書」に準拠した内容で、「茅野市子どもの生活状況調査」を実施した。調査結果において、相対的貧困の目安とされている等価世帯所得の中央値の2分の1未満の割合が10.5パーセント、85世帯という結果。

令和2年度に国が実施した調査の結果では、等価世帯所得の中央値の2分の1未満の割合は12.9パーセント。市の方が2.4ポイント少ない状況。

世帯収入の水準や親の婚姻状況によって子どもの学習・生活・心理面など様々な面に影響を受けていることが把握できた。と回答させていただきました。

2件目として、「子どもの貧困が未来に及ぼす影響について」という質問をいただき、国の分析報告書によると、世帯収入の水準や親の婚姻状況によって、子どもの学習、生活、心理面など様々な面で影響を受けていること、また、成績、生活習慣、相談相手などの社会関係を獲得するチャンスが低下してしまうなどの影響があるとされている。

今後の取組については、人的・文化・社会関係などの資本を獲得できる支援策を講じていく必要があると考える。と回答をさせていただきました。

3件目として、「支援のひとつである子ども食堂、居場所活動について」という質問をいただき、市で把握している市内の子ども食堂等は5団体。法人格を有している団体や、ボランティア活動団体などが活動を行っている。週1回から月1回程度の活動まで、団体の方針により実施。

今年度はこのうち、3団体がが市の委託事業として活動を行っている。実施内容、居場所の提供、食事提供、生活支援、学習支援、相談等の情報共有。と回答させていただきました。

4件目として、「子どもの貧困対策についての計画の策定について」質問をいただき、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」の改正により、「子どもの貧困対策推進計画」を令和4年度中に策定を予定。

策定に当たっては、「茅野市こども家庭応援会議」と「茅野市こども・家庭の豊かな未来づくり推進本部」により行う。

各部署において貧困対策に係る施策を進めていく中で子どもの貧困に関わる情報を把握するといった視点を持ち、情報の共有と連携を図り、貧困対策を進める。と回答させていただきました。

続いて木村かほり議員から「コロナ禍での子ども支援の取り組みについて」小項目として4件質問をいただいています。

1件目として、「子どもの居場所の取り組みについて」質問をいただき、0123広場は、新型コロナ感染警戒レベルに応じ、人数や滞在時間の制限を行いながら開館し、子育て中の親が孤立や孤独にならないように努めている。

地区こども館も、同様だが、「まん延防止等重点措置」を講じた際は、異年齢の不特定多数が集まる地区こども館については休館とした。

また、今年度は子どもの居場所づくり事業を民間の3団体に委託して行っている。と回答させていただきました。

2件目として、「子育て中の家庭への支援について」ご質問いただき、保育園、学童クラブは、保護者の就労支援が前提となる施設であることから、感染防止対策をとりながら、開所を継続している。

小中学校では、臨時休業等になった場合は、オンラインによる授業が実施できる体制を整えている。

また、臨時休業になった学校にはICT教育サポートセンターの職員が出向いて、家庭への支援も行っている。と回答をさせていただきました。

3件目として、「不登校の子どもへの支援について」ご質問いただき、不登校の児童生徒がオンラインで学級の授業に参加する体制も整えており、適応指導教室やフレンドリールームから授業に参加することも可能。

タブレットの操作方法や接続方法など技術的な支援についても、ICT教育サポートセンターの職員が対応することができる。担任やスクールソーシャルワーカー等が仲立ちとなり、学校、育ちあいの、ICT教育サポートセンターが連携しながら個々に寄り添った支援を行っていく。と回答をさせていただきました。

4件目として、「いじめに対する対応について」ご質問いただき、小中学校では、子どもたちの豊かな心を育むために、「心のよつばのクローバープラン」を打ち出し、その中に「いじめ対策」を掲げ、児童生徒の心の教育を行ってきた。

また、「いじめ防止対策推進法第12条」に基づき、平成29年4月に「茅野市いじめ防止等のための基本的な方針」を策定。その後、令和元年5月に改訂を行い、各学校においても、いじめ防止基本方針を定め、ホームページで公表している。

心配ごとや相談は学校と「育ちあいの」が連携し、支援が必要な場合は、学校と「育ちあいの」で対応している。引き続き、相談窓口の周知や、心配なことがあればすぐに相談できる体制を整え、安心して学校生活を送ることができるよう努めていく。と回答をさせていただきました。

○生涯学習部長

同じく木村かほり委員から、「LGBTQの方々への理解を深める取り組みについて」小項目として3件質問をいただきました。

こちらの回答主管課が企画課になっていますが、主に生涯学習、また福祉関係の部署で人権教育に関する回答を作成しましたので回答させていただきました。

1件目として、「性的少数者への理解を深める取り組みについて」ご質問いただき、茅野市は、平成12年「茅野市人権尊重に関する条例」を制定、「人権尊重審議会」や「茅野市人権教育・啓発推進本部」を設置し、茅野市の人権尊重に関する施策に基づき人権問題取組を進めている。今年度の人権尊重基本方針重点目標の一つに「一人ひとりが持つ多様性を理解し合い、共に生きる社会の実現をめざす」を掲げ、多様性を認め合える社会実現に重きを置いている。また、「茅野市人権教育推進委員会」設置により、人権教育・啓発を推進。これまで①企業や人権に関する各種団体、教職員等への啓発の取組「人権教育研修会」の毎年開催。②平成30年度県内在住の当事者を講師とした『性同一性障害の現状と課題～性的マイノリティの方の人権～』題した講演会開催。③市内高校で性教育を担当教員による『安全・安心な人間関係を築くために～人権・健康・いのちを護る取り組み～』題した講演会開催。④令和元年度に保護者会やPTA関係者向けに『多様性を認め合う社会へ』題した性教育講座開催。等の取組がある。

学校現場では、学校ごと人権教育計画策定。児童・生徒の発達段階に応じ、義務教育で様々な人権課題に触れる取組をしている。LGBTQ関連の傾向がある子どもに、家庭の希望を聞き適切な配慮に努めている。と回答をさせていただきました。

2件目として「担当する部署について」と質問いただき、LGBTQは人権尊重の取組の一つとして対応する必要があり、国や県などの動向を捉え茅野市として取組が可能かを研究する。と回答をさせていただきました。

3件目として、「同性パートナーシップ制度への取組の可能性について」ご質問いただき、同性パートナーシップ制度は、渋谷区や世田谷区を皮切りに全国の自治体で導入が始まっている。県内でも松本市が導入し他自治体でも準備が進められていると聞いている。

民間では、同性パートナーシップ制度の証明があれば、住宅ローン利用が可能など、少しずつLGBTQへの取組が始まっている。法律上の制度ではないため、法的な効果が及ばないなどの課題もある。同性パートナーシップ制度の調査、研究から始めたい。と回答させていただきました。

○こども部長

続いて松山孝志議員から、「小・中学校における教育に関わる課題について」、小項目とし8件の質問をいただいています。

1件目として、「これまでの6・3制に変わる義務教育学校について」ご質問いただき、茅野市では、市内を4つの中学校区園として、学区園ごとに課題や育てたい子ども像を明らかにし、その上で小中学校の9年間を通じた教育目標・構想を定め、一貫した教育を展開している。と回答させていただきました。

2件目として、「小学校におけるICT教育の狙いと使用上の諸問題について」ご質問いただき、文部科学省では、児童生徒自身がタブレット端末を「文房具」として、自由な発想で活用することで、思考、判断、表現力の向上が期待できるとしている。

また、ICTの活用により、一人一人の学習ニーズや個性等に応じた、わかりやすい授業・学習の実現を目指している。

情報モラル教育については、平成30年度に「茅野市ICT教育推進計画」「茅野市ICT教育アクションプラン」を策定し、児童生徒の情報リテラシーの習得、及び情報モラル・セキュリティの習得を進めている。

11月には独自テキスト「小・中学生のための情報リテラシー」を作成し、情報モラルや情報セキュリティの問題について学ぶために活用をしている。と回答させていただきました。

3件目として「伝統文化教育、環境教育や情報活用能力等への授業時間の配分について」ご質問いただき、文部科学省は、小中学校の授業時間配分について一定の弾力化による編成を特例的に認める「授業時間数特例校制度」を導入しているが、当市においては、新たに指導要録を作成するなどの、教職員の負担を考え、現在のところ申請の予定はない。

地域の特色である縄文・市民科の学習については生活科、総合的な学習の時間の中から10時間を使って取り組んでいる。また、伝統文化教育や環境教育などの現代的な諸課題に対応する教育や、情報活用能力などの学習の基盤となる資質・能力の育成についても、総合的な学習の時間等を活用していく。と回答をさせていただきました。

4件目ですが、「小学生の知力を育むための体力の向上について」ご質問いただき、令和3年度のスポーツ庁「全国体力テスト・運動能力、運動習慣等調査」の結果では、平均値は、5年生男子は、国が52.52点、茅野市が54.77点、5年生女子は、国が54.64点、茅野市が57.15点。男女ともに国の数値を上回っている。

全国的な低下の要因としては、運動時間の減少、スマートフォンやゲームの視聴時間の増加、肥満の増加が挙げられ、また新型コロナウイルス感染症の影響を受け、更に拍車がかかったと考えられている。

市内の小学校では、体力向上の取組として、学校ごとに「体力向上プラン」を作成し、体力向上の取組を実施している。と回答をさせていただきました。

5件目として、「1学年1クラスとなる様な少子化の中における教育について」ご質問いただき、現在、市内9小学校の内、1学年1学級となっている学校は3校、4中学校はともに、1学年が3学級から5学級。

文部科学省のヒアリングでは、少人数教育の効果としては、一人一人に目が行き届き、きめ細やかな学習が行え、学力向上に効果があること、発言・発表など、一人一人の活躍の場が増加すること、教室にゆとりが生まれ、学習環境が向上すること等。反面、児童生徒が集団の中で切磋琢磨しながら学んだり、社会性を高めたりすることが難しくなる等の課題も指摘されている。学校規模にかかわらず、生きる力を育む教育の推進に務めていく。と回答をさせていただきました。

6件目として、「少子化の中で共に歩む外国籍の子どもの就学について」 ご質問いただき、市内に住民登録のある学齢の外国人の子どもは、令和3年5月1日現在で小学生21名、中学生11名で、いずれも就学をしている。外国人の子どもの保護者には、就学義務は課されていないが、市では「外国人の子供の就学促進及び就学状況の把握等に関する指針」に基づき、住民登録の手続きを行う際等に就学の案内や説明をしている。

外国人の子どもは、日本語の能力の課題があることから、本人と保護者の希望を確認した上で、日本語教育指導員による指導を行っている。令和元年度から3年度まで延べ5名の指導を行った。と回答をさせていただきました。

7件目として「「ヤングケアラー」について学校が支援ができることは」というご質問いただき、ヤングケアラーという概念は、これまで十分に周知されていない。

今年度は、市教委でヤングケアラーに関するアンケート調査を実施したことに合わせて学校へ働きかけ、育ちあいのの相談員等を講師とした研修を行った。

支援の必要性のある児童生徒を把握した場合は、育ちあいのへ繋いだり、要保護児童対策地域協議会案件として福祉、介護、医療等と連携する中で学校としてできることを検討し対応していく。と回答させていただきました。

8件目として、「コロナ禍での学びに対する影響はどのようにあったか」というご質問いただき、コロナ禍により学校現場では、ICTの活用や分散登校の実施など様々な感染症対策を講ずることにより、学びを止めないための様々な努力を行ってきた。

学校で感染が確認された場合の対応は、文部科学省や県のガイドラインを参考に、保健所の指導のもと、休校や、学年閉鎖、学級閉鎖といった基準に基づいて対応を行ってきた。この2年余りでも刻々と状況が変わり、知見が変わるごとに、基準も変わってくるので、対応は今までも、そしてこれからも、その都度、最新の知見や、地域の感染レベルに応じた対応をしていくことになる。

教育課程はほぼ予定通りに進めていくことができた。

単にカリキュラムをこなすのではなく、協働的な学びの中で、学習を定着していくことが大切だと考えている。

今後も、社会全体が新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならない状況にあることから、感染症対策と子どもたちの健やかな学びの継続を両立させ、各校での授業の工夫・改善を継続し、ICTを始めとする様々な学びの形態により、全ての子どもたちの学びを保障する環境の実現のために、日々の実践と研究を進めていく。と回答をさせていただきました。

○生涯学習部長

次に望月克治議員から、「中央公民館等の公共施設の役割と施設整備について」小項目2件の質問をいただいています。

1点目として、「コロナ禍で、使用人数制限等がかかり、以前と違う状況で利用することになっていますが、自治の学びと実践の起点となる公民館活動や地域の歴史等を学び、知識を深めるための支援策は進んでいますか」というご質問いただき、コロナ禍、公民館は、新たな取組でビーナチャンネルを活用し「縄文文化講座」「けん玉にチャレンジ」2講座を実施。「縄

ふさかず

文文化講座」は、宮坂英 弼先生のご親族を招く貴重な機会なので対面講座の予定が、コロナ禍で急遽動画配信講座に切り替えた。中止せず新たな試みとして成果の一つと考える。

公民館分館職員研修会が2年続きで中止。学習分科会講演『コロナ禍の公民館活動』収録DVDと分科会資料を地区公民館に配布し、今後の活動に役立つよう研修依頼した。コロナ禍における学びを地域や団体活動を繋げる取組を進めている。

図書館は、コロナ禍、工夫し基本的に開館方針で運営。利用者の求めに短時間提供できるインターネット予約の推進により、コロナ前よりも予約件数が増加。来年度、市町村と県協働の電子図書館サービスの開始予定。茅野市のDX化の一環として推進する。コロナ状況下、市民の読書環境を整備、情報提供に努めたい。

はたお

八ヶ岳総合博物館は、大人数来館のナイトミュージアムなどは中止。「機織り体験」や「ワクワク子ども実験教室」「夏休み子ども教室」「市民研究員活動」等は、感染対策により断続的に実施。新たな取組で、企画展解説用ギャラリートークを動画配信した。ホームページ上に「おうちで学ぼう」を設け、工作方法を動画視聴やプラネタリウムの内容要約PDFファイルのダウンロード可能とした。「茅野レガシー 未来に残したい茅野遺産」動画番組を作成、茅野市の自然・歴史として紹介している。

生涯学習各施設では、対面講座とオンライン講座、紙媒体と電子媒体、リアル体験とデジタル・バーチャル体験等、コロナ禍以前に無い方法を取り入れ、取り組んでいる。コロナ禍である今を繋ぐことは、今までの活動の意義や方法を見直し、改良や進化のチャンスでもある。今できることを精いっぱいに取り組み、コロナ収束後に活力ある地域づくりに繋げたい。と回答させていただきました。

2件目として、「災害時の避難所として、冬期や夏季の避難に対応できる施設となっていますか」というご質問いただき、中央公民館での災害時は、冷暖房設備の無い部屋で必要に応じて移動式クーラーや石油ストーブ等で対応する。昨年9月災害時の中央公民館避難所では、冷暖房機器の使用はなかった。八ヶ岳総合博物館には全館対応の冷暖房設備があるが、両施設とも停電時の電力対応設備はない。

暑さ寒さ対策は、避難所における避難者の健康の保持に関わる要素となるが、2施設ともに避難所として十分な環境にあるとは言えない状況。今後、公共施設再編計画等に基づく改修や建替を検討する際、課題を踏まえて考えたい。と回答をさせていただきました。

以上です。

○教育長

ご質問ありますか。

○矢島職務代理

感想として、具体を上げて非常にわかりやすくご回答いただいたと感じています。

特に1番最初に、ご説明いただいた両角議員の「夢のあるひと育ち」に関する回答ですが、我々が共通理解をして、進む方向を見据えて回答してくださっていると感じました。

○教育長

来年度も重点になる場所ですので、しっかり取り組んで参ります。
他ご意見ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

そのた2「3月定例会の議決結果について」お願いします。

○こども部長

その他2の資料をご覧ください。

令和4年度茅野市議会3月定例会に付議された議案は、ご覧の通り25件です。

このうち、3ページの議案第27号、28号は会期中に、追加提案されたものになりますが、教育委員会に関係するものではありません。

以上の27号、28号含め、議案25件すべて承認及び可決されました。ご確認をお願いします。

○教育長

ご意見ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

その他3「4月1日付教育委員会人事について」お願いします。

○こども部長

資料をご覧ください。教育指導主事・教育支援指導主事の任命予定者です。ご覧の通り番号1番から6番までの6人です。

守屋修介先生が新任として、山岡先生の後任となります。現在、玉川小学校の校長先生ですが、4月から学校教育課指導主事となります。

2番以降、平田先生、帯川先生、野澤先生、藤木先生、畑中先生は再任です。

以上が教育指導主事・教育支援指導主事の任命予定者です。

続いてその他3(2)、(3)をご覧ください。

3の(2)ですが、事務局の職員の異動です。こちらについては、非常に文量多くなっていますが、係長以上、退職者についてのみ説明させていただきます。

1ページ目ですが、私有賀が、こども部長から総務部長へ異動となります。その下、五味留美子こども課長が、こども部長に昇格です。

○生涯学習部長

続いて中段の下、田中ひろみ生涯学習課長が総務課長へ異動となります。

○こども部長

2ページをご覧ください。2ページの一番上、阿部香織市民課長が、こども課長へ異動となります。

○生涯学習部長

その下、竹内こずえ秘書広聴課長が、生涯学習課長へ異動となり、こども読書活動応援センターセンター長も兼務します。

その下、五味健志文化財課長は、数々の兼務がありますが、この度新たに尖石縄文考古館の館長の辞令が出ています。

なお、現館長の守矢館長は、この資料には記載ありませんが、特別館長としてご勤務いただきます。

○こども部長

続いて係長です。2ページ中段をご覧ください。

長田香織こども課課長補佐兼子ども家庭相談係長ですが、地域福祉課課長補佐兼生活福祉係係長として異動です。

3ページをご覧ください。上から6行目、熊谷壽美子企画係統計調査担当が、学校教育課課長補佐兼学務係長として、異動及び昇格です。

○生涯学習部長

その下、両角香代生涯学習課課長補佐、現図書館係長ですが、生涯学習課中央公民館教育係長に異動となります。

その下、北澤ゆき子学校教育課課長補佐兼学務係長ですが、この度図書館係長へ異動となります。なお生涯学習課課長補佐を兼務します。

その下、柳川英司博物館係長ですが、文化財課課長補佐に昇格し、尖石縄文考古館総務担当兼縄文プロジェクト推進室次長兼八ヶ岳総合博物館、守矢史料館担当を兼務します。

その下、河西茂廣生涯学習課課長補佐ですが、議会事務局次長兼庶務・調査係長兼議事係係長を兼務することになります。

下から5行目、辻井まどか生涯学習課中央公民館教育係長ですが、この度健康づくり推進課健康総務係健康総務担当兼新型コロナウイルスワクチン接種対策室次長へ異動となります。

○こども部長

3ページの一番下、浜まゆみ学校教育課教育総務係栄養指導担当ですが、保健福祉サービスセンター中部地域福祉推進係係長兼、センターの所長として異動となります。

4ページをご覧ください。上から3分の1くらいのところ、飯島淑子市民課戸籍係戸籍担当ですが、こども課こども係こども育成担当として異動です。

その下、白鳥晴美こども課こども家庭相談係子ども家庭相談担当ですが、こども課こども家庭相談係長に異動です。

その下、田中美和パートナーシップのまちづくり推進課市民活動推進係長ですが、幼児教育課保育総務課長として異動です。

その下、竹村真一郎学校教育課学校建築係主査ですが、学校教育課学校建築係学校建築担当として、昇格です。

○生涯学習部長

その下、武居直樹文化財課尖石縄文考古館考古館総務担当が、この度生涯学習課生涯学習係長に異動になります。

その下、正木美香幼児教育課保育総務係係長が、文化財課八ヶ岳総合博物館博物館係長へ異動になります。

その下、立木邦弘水道課営業係徴収担当から、スポーツ健康課スポーツ健康係施設整備担当へ移動となります。

6ページをご覧ください。

上から10行目、伊藤理恵生涯学習課生涯学習生涯学習係文化芸術担当が、生涯学習課長補佐に昇格となりました。

こども部長

7ページをご覧ください。園長の関係です。

1番目、湯田坂眞保こども課発達支援センター次長ですが、課長補佐へ昇格です。次長の職務をそのまま引き続き兼務です。

前島敦子宮川保育園長ですが、課長補佐に昇格です。宮川保育園長はそのまま兼務です。

その下、篠原ルミ米沢保育園長は、宮川第二保育園長へ異動です。

清水弓子豊平保育園園長補佐は、中央保育園園長に昇格です。

湯田坂美穂宮川第二保育園長は米沢保育園園長へ異動です。

五味絵里子中央保育園園長補佐は、みどりヶ丘保育園園長へ昇格です。

10ページをご覧ください。再任用の関係です。新たに再任用になられる方ですが、下から4番目の、竹内きよみ担当が幼児教育課幼児教育係保育指導担当として、再任用です。

その他、再任用の方々いらっしゃいますが、その他の方々は、継続す。

11ページ退職の関係です。11ページ上から8行目、竹内きよみ幼児教育課課長補佐兼保育指導担当ですが、この度定年による退職され、先ほどの通り再任用となります。

その下、五味麻江こども館主任保育士が退職です。

牛尼里織宮川保育園保育士、岩渕千菜小泉保育園保育士、丸山直樹こども課こども係主任が退職です。

その下は、再任用職員の退職ですが、鈴木いずみ保育指導担当ですが、ここで退職です。

牛山まきみみどりヶ丘保育園長は、再任用でしたがここで退職です。

その他3-3については、主査以下の職員の内容になりますので、ご確認ください。

○生涯学習部長

その他3(3)最後のページの「追加」をご覧ください。真ん中空欄の下、河西茂廣議会事務局次長ですが、先ほど説明した役職に加えて諏訪南行政事務組合議会事務局次長兼、諏訪広域公立大学事務組合議会事務局次長の兼務がかかっています。

そこから5行ほど下、武居直樹係長ですが教育委員会こども読書活動応援センター次長の兼務がかかっています。以上です。

○教育長

質問等ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

今後もみんなで心を合わせて、茅野市の子どものために頑張っていきますので、よろしくお願いします。

その他4「茅野市子育て世帯等臨時特例支援事業」についてお願いします。

○こども課長

資料その他4ご覧ください。子育て世帯への臨時特別給付支援給付金の支給事務実施要項について、ご説明します。

まず、資料にありませんが、支援給付金の趣旨についてご説明します。すでに今年度実施した、子育て世帯への臨時特別給付金の先行給付と、追加給付については、基準日を9月30日として、その時点の児童手当の受給者に支給を行いました。

基準日より後の離婚等によって、新たに対象児童の養育者となっているのにも関わらず、給付金を受け取れなかった方に対し、子育て支援をする目的で、事業の一部を見直して実施する。

これが国の改正となります。

第1条では目的、第2条では定義を記載しています。給付金の支給ですが、第3条に記載していますが、対象児童1人につき10万円です。ただし、支給対象者からの申請に基づき、当該支給対象者が先行給付金受給者、または追加金受給者から当該給付に相当する額の金銭等を受け取っていた場合または、別記第2号対象児童のために先行給付金受給者または追加給付金受給者が、当該給付金を費消していた場合においては、その額を除くとしています。

第4条では、申請及び支給の方式を示していますが、追加給付と先行給付については、申請なしの方式でも、支給をさせていただきましたが、今回の支援給付金については、対象者全員から申請によって、支給を行うという部分について述べさせていただいています。

以降もご覧いただきたいと思います。附則として、この告示は公布の日から施行すること、1ページ目上段にあります、令和4年2月28日施行としました。

こちらの対象世帯について若干ご説明しますが、9月30日以降の離婚等世帯として、対象世帯は15世帯となり、すべての世帯にご案内をお送りしました。そのうち、申請のあった世帯は8世帯でした。こちらの8世帯については3月25日に、支払い完了しています。

残り7世帯についてですが、電話等で確認をとり、先行給付・追加給付ともに受け取れているという確認が取れていますので、未受け取りの対象者はいないと認識をしています。

説明は以上です。

○教育長

意見質問ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

その他5「市民館の指定管理者公募について」をお願いします。

○生涯学習課長

資料はありません。茅野市民館指定管理者の株式会社地域文化創造の指定期間が令和4年度末をもって終了となります。

令和5年度からの新たな指定管理の指定について、この5月上旬に公募予定となっています。
指定期間は現在と同じ5年間の予定です。6月中旬に公募を切り、審査会に諮った後、9月議会で提案の予定となっていますので、お知らせします。以上です。

○教育長

その他、何かありますか。

○生涯学習課長

その他としてもう一点お願いします。家庭教育センターにおける家庭教育相談員についてです。

家庭教育センターにおける家庭教育相談について、この4月から変更がりますのでお知らせします。

家庭教育センターには、現在2名の家庭教育相談員が、交代で在籍しています。参加者と一緒に講座に入っていただくなどしていますが、実際の相談体制としては、難しい面もありました。

その中で、家庭教育相談員の常駐体制を見直し、育ちあいちのとの連携を強化していきたいと考えています。講座についても、すべての講座とはいきませんが育ちあいちのから、相談に来ていただき、講座内容について気軽に相談ができる工夫をし、より相談しやすい体制や、参加者同士が話し合いやすい体制を目指していきます。

常駐の相談員はいませんが、育ちあいちのとの連携を深めていきたいと思っておりますので、お知らせします。

○教育長

他にありますか。

事務局をお願いします。

○教育総務係長

事務局です。次回4月の日程をご報告します。

定例教育委員会は4月26日の火曜日、9時30分から8階大ホールで行います。

事務局会議の方は、4月14日の木曜日、9時からの602会議室で行います。

以上です。

○教育長

あとわずかですが4月1日になりますが、コロナの嵐が収まらない中で、生涯学習、学校教育、幼児教育共にしっかりと4月1日迎えていきたいと思っておりますので委員の方々もまたご助力をお願いします。

以上で終わりにします。

茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

令和4年4月26日

茅野市教育委員会

教育長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こども部長